



つつじ咲きみだれるキャンパス



第39号

静岡県三島市文教町2-31-145
日本大学国際関係学部
校 友 会

平成二十年度 常任幹事会・幹事会開催

○会長・副会長会

平成二十年六月十四日(土)十六時三十分から、国際関係学部校舎十五号館五階一五五五教室において開催された。相田信次会長挨拶のあと会長進行により議事に移り、常任幹事会及び幹事会への議題等について、田中由雄幹事長及び野田正人常任幹事(会計担当)から説明があり、各項目ごと詳細にわたり審議された。

○常任幹事会・幹事会

平成二十年六月十四日(土)十七時三十分から役員会に引き続いで開催された。濱田義之常任幹事の司会で進行され、相田信次会長挨拶の後、議長団書記が選出された。議長には松原裕二幹事、書記には露木ひろみ常任幹事がそれぞれ選出され、次の議事が審議された。

平成十九年度事業報告

監査報告

総会会場について

平成二十年度事業計画(案)

平成二十年度予算(案)

役員改選に関する件

会報(第三十九号)発行について

各科活動報告

その他の

①本部校友会報告

②学部別スタッフ製作について

③国際校友会ホームページ作成について

④日本大学校友会館新築について

田中由雄幹事長から、平成十九年度事情報告がなされ、統いて平成十九年度決算報告が野田正人常任幹事会計について、染谷徳昭会計監査から担当から報告があり、それそれを承認された。

田中由雄幹事長から、平成十九年度事情報告がなされ、統いて平成十九年度決算報告が野田正人常任幹事会計について、染谷徳昭会計監査から担当から報告があり、それそれを承認された。

総会会場について、昨年度まで開催場所として三島グランドホテルでしたが今年六月をもって廃業通知があり他の会場も予約出来なかつたため今年度の会場を国際関係学部内で開催したい旨の報告がなされた。統いて平成二十年度事業計画(案)については平成二十年度予算(案)については平成二十年度予算(案)については野田正人常任幹事会計担当から提案され、審議の結果予算案では行事等の繰越金を設定すること2議案とも承認された。

現役員が平成二十一年三月三十一日をもつて任期満了となる。また校友への総会等の通知を密にするため、平成二十年度は国際関係学部七名商経科七名・食物栄養学科十名を新幹事として事務局から提案および推薦があり審議の結果現役員の再任ならびに新幹事の一案とも承認された。

各科活動報告として、山崎光義商経科二部同窓会会长から平成十九年九月十五日開催の総会にて次期会長に甲斐幸博氏が選出され、また、佐野茂子桜栄会会长からは平成二十年六月八日開催の総会にて次期会会长に田中由雄幹事長である金井美智子氏が選出された旨の報告がなされた。

次の田中由雄幹事長から会報(第三十九号)発行について毎年のところ

り校友会奨学金授与者五名に原稿依頼をしたい旨の報告がなされた。

その他として、相田信次会長から校友会本部会議での正会員登録者の募集および学部別スタッフ製作、

田中由雄幹事長からは国際校友会ホームページの作成、柴田正顧問からは校友会館の新築について報告がなされた。

校友の協力を



国際関係学部長

佐藤 三武郎

校友の皆様におかれましては、ご清栄のことと存じます。三島キャンパスの発展は、校友の皆様のご支援とご理解にかかっています。昭和二十一年、三島キャンパスは予科として創設されました。爾来、地域社会との連携を図りながら、大きく発展してまいりました。三島キャンパスから素晴らしい人材が輩出し、社会で活躍している姿を見るにつけて、頼もしさを感じます。

かつての校友はなぜ逞しかったのかと、しみじみ考えさせられることがあります。おそらく戦後間もなく進学した校友の皆様は、「生きる」ことへの強い執念があつたからだと思います。当然のこととして、勉強への意欲も旺盛であったと信じます。日大精神が、生涯に亘って校友の皆様を支えてきたのではないかと思います。

当時は、下宿が一般的だったと伺いました。今日と異なって、校友の皆様は地域との連携に熱心

だつたと聞きました。今の学生は孤独や困難に弱いと言われます。かつてのよう下宿の女将さんや親父さんが学生の世話をしてくれたら、我々教職員の心配もまた違つたものになつてゐるのではないかと想像します。校

友の皆様の口から、下宿生活がどんなに楽しかつたか、人間形成にどんな役だつたかなど聞かされると、下宿生活の貴重な体験を憧れさえします。物質的に恵まれると、精神的に弱くなると聞きますが、ハンガリー精神はどの時代、どの国においても、人間を逞しくするように思われます。

いつの時代もそうですが、社会性を身につけることが欠かせません。今の学生はひとりつ子が多く、またアパート住まいが目立ちます。従つて、かつての校友のようにはゆきません。学生指導において、自主性を重んじる教育は守り抜いていますが、社会性をいかに身につけさせる

には、幅広い教養が求められます。異文化との接触には、高い情熱と向上心が欠かせません。その点では、今の学生は十分な知識と常識を備えています。

校友の皆様は実社会で活躍しています。皆様が住んでいる地域、あるいはお勤めの企業などで、地域貢献や社会貢献に取り組む場をご存知だと思います。皆様の後輩の育成のため、社会性を身につける場の提供をお願いしたいと思います。

今年の二月、私は廻持宣弘前局長のご定年に伴い、後任として就任いたしました。

私にとつても、ここ三島キャンパスは高校時代そして大学1年まで、通算四年間通い学びましたので、なにか故郷に帰つて就任いたしました。

一九七九（昭和五十四）年四月に「国際関係」という名称の学部が、我が国で最初に創設され、来年で三十周年を迎えることになりました。学部創設にはさぞ大変な努力が必要であったと推測いたします。ご尽力された先人の方々に深い敬意と感謝を申し上げたいと思います。おかげさまで現在多くの卒業生が、さまざまな分野で活躍しております。

かには苦心します。学生に実務経験をつけ、逞しく育てるために、校友の皆様の協力を頂きたいのです。

「思いやり」や「いたわり」の心は、体験を通して身につけるものです。ボランティア活動などのような実体験を通して学ぶのが一番良いと思います。国際交流が盛んな昨今、ボランティア活動には、幅広い教養が求められます。

異文化との接触には、高い情熱と向上心が欠かせません。その点では、今の学生は十分な知識と常識を備えています。



国際関係学部事務局長

秋山 正

国際人育成に全力をそそぐ

そびえ立つ富士山や箱根を一望することができます、伊豆の山々、駿河湾も近くまさに自然環境に恵まれたすばらしい地です。この豊かな自然が“人の和”を形成する一つになつてゐたのかもしれません。

当時、このキャンパスで共に学んだわが旧友たちと久しぶりに会いましたが、彼らにとつても思い出多き忘れられない地になつてゐるようです。

當時を振り返りますと、このキャンパスには、全国津々浦々から大勢の学生が集まり、連日キヤンパス内にお国訛りが飛び交い、時間が経過するとともににお互いの友情が芽生え、青春を

多くに謳歌したこと思い出します。

世界は今、情報通信の驚異的な発達でグローバル化し非常に

狭くなっていると感じられます。そして地球温暖化をはじめ、取り組まなければならない国際的な課題もたくさんあります。われわれの生活しているこの地球環境を守り、平和で快適な生活を維持するためにも国際関係学部の担う役割は重要であり、ここで学び国際人として社会に飛び出す学生への期待はとても大きいのではないでしょうか。

日本大学の目的及び使命の中に、「日本大学の平和と人類の福祉」とに寄与することを目的とし広く世界に知識をもとめて深遠な学術を研究し身心ともに健全な文化人を育成することを使命とする」とあります。これからも本学の建学の精神を忘ることなく、国際的な視野に立ち、実践的な語学力を身につけ、多様化する世界情勢に対応できる自信と誇りをもち世界に羽ばたく人材を輩出するため、教職員一丸となって努力する所存であります。

校友の皆様方のより一層のご健勝をお祈り申し上げますとともに、今後とも国際関係学部に対し暖かいご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。

三年間を振り返って見て



国際関係学部校友会会长
相田 信次

校友の会皆様に置かれましては益々のご健勝のこととお喜び申し上げます。

早いもので、私が国際関係学部校友会の会長職を仰せつかりまして三年が経ちます。

振り返って見ますと、校友会の運営や本部校友会と十五学部校友会との連携の強化と国際関係学部卒業生で校友会役員の育成など行っています。私は現役の社会人です。その為仕事と校友会事業を両立させながら努力しています。校友の皆様には、より一層のご支援をお願い申し上げます。

我々校友会の悲願でありました日本大学校友会館（仮称）【現千代田区五番町二番地】建設を平成二十一年十月に建設に着手します。本年度は基本設計に入ります。建物は地下一階、地上四階建ての建物です。平成二十一年十月は日本大学創立二二〇

国際関係学部 創設三十周年に想う



国際関係学部校友会副会長
国際関係学部同窓会会长
宮下 公雄

校友の皆さまにおかれましては多方面でご活躍のほどお喜び申し上げます。国際関係学部国際関係学科一期卒業の宮下公雄と申します。

国際関係学部校友会も、相田信次校友会会長 柴田正顧問 西村美恵子顧問 田中由雄幹事長 他諸先輩のご尽力により活躍の場を他学部同窓会との交流へと大きく移しております。三島同窓会から歴史と伝統を築き大きく発展させて下さる諸先輩方に深く感謝申し上げます。

我々が卒業しました日本大学は創立一二〇周年国際関係学部も平成二十一年四月には創立三十周年を迎えようとしておりま

す。私たちがお世話になつた当初国際関係学部は大変めずらしい学部だったのですが、今では日本で、もっともグローバルで

スタンダードな学部になりました。

振り返りますと今から二十数年前語学研修目的中国本土におくつて頂いた事は、大変画期的なことでした。一九八〇年代に入ったばかりの北京は平坦で空だけが青く澄んでいたのが印象的でした。夜だというのに車のライトは、パッシングの時にしか点けず、牛が道の真ん中を歩き、エコロジーな、何もかもが二十世紀前半を思わせセビア調の時代風景であります。それがわずか三十年たらずで今では、北京オリンピックも開催されました。あの当時誰が、今のように発展する中国の姿を想像したでしょうか？今ではオリンピック後の中国バブル崩壊もささやかれていますが大きな調整はあつたとしても今の中国には日本人が失つてしまつた将来に向けての明るい未来が感じられます。

最近またまたま訪れる機会のあつた青島（チンタオ）では、勿論所得格差はとてもなくありますが日本人にも中々乗ることが出来ないような高級車を中国人の奥様たちが普通に運転しております。町並みは日本の高級品であふれ日系のスーパーなど夜の十時を過ぎても溢れんばかりの人で混み合っています。日本では一〇〇〇円前後のワイン

青春の思い出



國際關係學部校友會常任幹事

濱田
義之

「教養課程は三島校舎とする。」
昭和四十五年の年明け、法学部への入学が決まっていた私のもとに大学から届けられた通知書が、私と三島キャンパスとの出会いの一歩でした。

ばならないという現在の自由な姿からは考えられない緊迫感があつたのです。

しかしキャンパス内には大き
な青春が広がっていたのです。
特に大学祭の開催に携わったこと
とが今でも鮮明に蘇ってきます。

大学祭の開催日程は決まってい
たのですが、大学紛争の影響で
本当に開催できるのか危惧され
ており、各クラスの連絡委員や

外で、活動の連合体である学生会員会のメンバーを中心とした実行委員会が立ち上げられ、大学当局と交渉して正式に開催が決定されたのです。学生の為の大学祭ですから学生の手で全てを準備していくかねばならず、実行委員会では学生間の任務分担の調整をはじめ、大学当局、関係の

役所、出入業者、地元住民や商店街などとの交渉など初めての経験が主道をまくにあつた。

過言ではありません。
校友の皆様、三島駅から銀杏
並木を通りながら、なつかしい
三島キャンパスを訪れてみては
いかがでしょうか。
きっと貴方だけの青春がよみ
がえつて来ることに違いありま
せん。

校方の皆様におかれましては
ご健勝でご活躍のこととお喜び
申し上げます。短期大学部家政
科五期卒業の金井美智子（旧姓
山本）と申します。この度は桜
栄会会長を務めさせていただき
ますと共に校友会活動に参加さ
せていただくことになりまして
身の引き締まる思いでおります。

が目に浮かんできまず、大學祭の折の農兵節の大行列、壯快でした。

時は移り今日の芝生広場は十五号館が建ち国際関係学部にふさわしいロビー、会議室、教室、ラウンジ等を持つステキな校舎に変身しております。多くの外国よりいらつしやいました学生、又日本から世界にはばたくさる様子を見るとなにかうきうきしてまいります。

会ではある者はシンボルマークの製作に汗を流し、ある者は実行委員会室で黙々と進捗状況を記録するなど多岐にわたった。仕事の中で、私も実行委員の一員として先輩や仲間達と一緒に

晴天に恵まれ、市民や学生の家族など大勢の方が来場され盛大に開催されました。



桜栄会会長

金井
美智子

し、思いをめぐりながら進んで行くと図書館、あんなつかしいなー、よく通つたなし、でもあたりは少し変わつてゐる。そのまま進むと屋外ステージ、緑に変わつたのが芝生の広場。学生達が語り合い、食事をとつたり、ひるねをしたり、そんなすがたが目に浮かんできます。大学祭の折の農兵節の大行列、壮快でした。

時は移り今日の芝生広場は十五号館が建ち国際関係学部にふさわしいロビー、会議室、教室、ラウンジ等を持つステキな校舎に変身しておりました。多くの外国よりいらつしやいました学生、又日本から世界にはばたいていく学生を育て慈しんでくださる様子を見るとなにかうきうきしてまいります。

私が学生の頃の三島校舎から今日では世界を視野に見た学舎に変身していたのでした。

次の世代にしつかりと脈々つながつていく様子を感じるとこどが出来ました。

これから国際関係学部の発展のために少しでもお役に立つことがありますたら務めて行きたいと思っております。校友の皆様、どうぞよろしくお願ひ致します。

衛室、ここは以前と変わりなく
ちょっと挨拶、時代と共に変化
していく校内にも変わってい
ないところもありました。時の
流れがもどされ懐かしさがこみ
あげてきます。実習室こんなに
小さかつたかしら、大学祭には
ここでカフェテラスを造ったな
ー。卒業記念樹もまだ元気だ

私が学生の頃の三島校舎が
今日では世界を視野に見た学舎
に変身していたのでした。
次の世代にしっかりと脈々とつ
ながっていく様子を感じとるこ
とが出来ました。

これから国際関係学部の発
展のために少しでもお役に立つ
ことがありますから務めて行き
たいと思っております。校友の
皆様、どうぞよろしくお願ひ致
します。

校友会長賞受賞者



国際関係学部四年
関谷 紀志

そんな大学生活を如実に語るような学生会CSA。この部活で得た経験と仲間は、生涯の財産と言えます。

静岡県東部、三島に位置する「日本大学国際関係学部・短期大学部」。都会ではなく、田舎でもない。そんな大学に入学して三年半。私は今、長かった学生時代を終え、社会人という未知なる自分へと変わりつつあります。

私にとっての大学生活は、本当に全ての経験、出会いが財産でした。高校までは得ることのなかつた様々な経験と交友は、確実に私を進化させてくれたと実感しています。

そんな私を育ててくれたもの、それは「学生会CSA」と「日本拳法部」でした。

特別な意思も持たず入部した学生会CSAでは、本当に多くの挫折を味わい、その分多くの仲間、先輩、後輩に支えられ、気が付けばただがむしやらに走ることが出来ました。私にとって、心から「仲間」と呼べる人たちと出会うことが出来たので



本当に、ありがとうございました。
本当に、ありがとうございました。
本当に、ありがとうございました。

胸に刻まれています。

この二つの部活は、確実に私の血肉となり、一生の宝として胸に刻まれています。

「大学生活は社会に出るために準備期間」。この言葉を私は常に実感することが出来ました。

そんな経験と仲間を与えてくれた大学生活、熱心な指導をしていただいた多くの先生方、学生課の方々、両親、そして仲間に感謝し、私は新たな世界へと、進みたいと思います。

大学に入つたばかりの私は、自由気ままに大学生生活を過ごすつもりでした。サークルに入りサークルでも始めよう。そんな気持ちでしたが結局は剣道部に所属しようと考えていた。

だが、現実は、朝七時に起きて、授業が終わって夕方六時から部活の打ち合わせ、夜九時に大学を出て家に戻ってきたのは夜十一時。翌朝五時に起きてアルバイト。こんな毎日を繰り返していた。いろんなものに手をつけすぎてしまって、自分自身がパンクしてしまい、「アレもコレも」と実際バランス良くいかなかつた。

私は実家からの通学だったため、いつも時間との戦いだった。部活でもう少し作業をしたいと思つても、終電が待つているので、途中で作業をやめて次の日を持ち越さなければならなかつた。また遅くまで残っていたもの、翌日が朝早い授業の場合、

大学に入つたばかりの私は、自由気ままに大学生生活を過ごすつもりでした。サークルに入りサークルでも始めよう。そんな気持ちでしたが結局は剣道部に所属しようと考えていました。

体育会執行部へ所属したのは二年生の始め、先輩からのお誘いの言葉をいただいたところから始まりましたが、正直などころ、半年間仮入部員とし、入部することを決めていました。剣道部では部長に任命され、執行部の同期は男子は私一人、委員長候補確定であります。しかし先輩がありませんでした。しかし先輩の活躍する背中を見て、私は変われる。大きくなれる。なるんだ。そう決意をし第三十八代委員長として執行部に所属をしました。

体育系大学公認団体をまとめている重要な役割というものはプレッシャーでもありました。各部の事で不手際や事件があつ

す。だからこそ、恩返しと先輩たちが連綿と紡いでくれた学生会CSAをよりよいものにしたいと思い、委員長に立候補し、えられ、その任を全うすることが出来ました。「自らが何かをしなければ何を得るものはない」。



国際ビジネス情報学科四年
長谷川 孝洋

しかし、これは自分を成長させることの大歩となつた。「時間管理」そして、「仕事の効率」を考えながら行動するようになつた。相変わらず自己管理は難しいが、「心がまえ」ができたことで、どんな仕事にも前向きに、そして積極的に行動するようになった。

私は文化会執行部という、文化系クラブの総括、そして連携を行なう。いろいろなものに挑戦しようと考へていた。



国際関係学科四年
勝呂 孝

大学に入つたばかりの私は、自由気ままに大学生生活を過ごすつもりでした。サークルに入りサークルでも始めよう。そんな気持ちでしたが結局は剣道部に所属しようと考えていました。

体育会執行部へ所属したのは二年生の始め、先輩からのお説明の言葉をいただいたところから始まりましたが、正直などころ、半年間仮入部員とし、入部することを決めていました。剣道部では部長に任命され、執行部の同期は男子は私一人、委員長候補確定であります。しかし先輩がいませんでした。しかし先輩の活躍する背中を見て、私は変われる。大きくなれる。なるんだ。そう決意をし第三十八代委員長として執行部に所属をしました。

体育系大学公認団体をまとめている重要な役割というものはプレッシャーでもありました。各部の事で不手際や事件があつ

た場合は我々執行部の責任であり、大きさかと思われるかもしれません。が委員長としての自覚とはこういうものだと感じています。委員長と部長をする日々で何度も押し潰されそうになります。嫌気がさした時もあります。失つたものも少なくありません。

しかし温かく相談にのり、ご指導をして下さった先輩方、高い意識を持ち行事を成功させようと一

緒に努力した同期、かわいい後輩達に支えられた責務を全うすることができました。

我々体育会系部員は、体を動かし、心身を育むことを基本概念とした集団です。各々が意識しているとは考えられませんが、体育活動をしていることで自然と自己を鍛えています。克己」という言葉がありますが、まさに自分に勝つことで始めて自分を成長させることができます。執行部に入り、改めて体育の素晴らしいと実感することができ、多くの人に支えられながら自分を成長させることができたと思います。

最後に、面倒を見てくださった先輩方、支えてくれた仲間、後輩達、応援して下さった教職員の皆さん、至らぬ点が多くありました。感謝しています。本当にありがとうございました。

うございました。

富桜祭を「ゼロ」の状態から



国際ビジネス情報学科四年
中島 由人



専攻科食物栄養専攻二年
富井 映里

創り上げていく経験は富桜祭実行委員会でなければ決して経験することは出来ないと思います。

ゼミ・部活・サークル・その他

全ての参加団体の方々が、日々の活動の集大成を富桜祭で出し切つてもうよう、私はスタッフとして裏方として全力でサポートをして参りました。また、

実行委員という仕事ゆえに富桜祭が私たちの自己満足で終わつてしまわないよう、地域の皆様や来場者の方々を第一に考える

ことは、教職員の方々との連携をより密接に実行委員一同が心掛けることで、学生だけのお祭りでなく本当の意味での「日本大

日本大学の中で最も富士山を身近に感じることのできる大学。

それは間違いなく本学「国際関係学部・短期大学部」であると

思います。日本の象徴である富士山に見守られての大学生活は、

私に与えてくださり、三島とい

う土地であつたからこそ私は私

らしく人間的に成長できた四年間であつたと思います。

入学してからの月日は本当にあつという間でした。そう感じさせてくれるほど、私が所属していた「富桜祭実行委員会」で

の毎日が魅力的で充実したもの

であったからだと思います。そ

ういった環境のもと、第五十七回富桜祭実行委員長を務めさせ

てもらった私は本当に幸せ者で

みなさんのおかげで無事委員長を務め上げることができました。

間違や教職員、校友会の皆様に

あらためてこの場を借りて深く感謝しています。本当にありがとうございました。

御礼を申し上げます。

技能五輪国際大会が静岡県で開催され、約五十カ国四〇〇人が静岡県を訪れる事になりました。静岡県は関係者を本県地産の山海の幸を使つた「おもてなし料理」でお迎えしようとい

う趣旨で、「二〇〇七年ユニバーサル技能五輪国際大会『おもてなし料理』レシピコンテスト」

を開催しました。コンテストは「肉料理」「シーフード料理」「デザート」の三テーマで行われ、私は「シーフード料理」部門に「駿河湾産ヤリイカのロールフライ箱根野菜添え」をエン

トリーしました。「肉料理」「シーフード料理」「デザート」の三テーマで行われ、私は「シーフード料理」部門に「駿河湾産ヤリイカのロールフライ箱根野菜添え」をエン

トリーしました。この挑戦も、研究材料の一つである駿河湾で自ら採集したヤリイカを使つた作品としてコンテストに応募しました。入賞者のほとんどが静岡県下の有名シェフである中で、受賞した作品

を含めた二十一作品を掲載した「おもてなし料理レシピブック」に、学生として唯一私の作品が掲載されることになり大変嬉しかつたです。その内容はその後、SBSテレビ「静岡発」そこから「おもてなし料理レシピブック」や新聞等にも紹介されました。

大学生活を通じて、様々な経験をすることができ、多くの方々へ感謝の気持ちでいっぱいです。

本当にありがとうございました。

専攻科に入学した平成十九年には、二〇〇七年ユニバーサル

技能五輪国際大会が静岡県で開催され、約五十カ国四〇〇人が静岡県を訪れる事になりました。静岡県は関係者を本県地産の山海の幸を使つた「おもてなし料理」でお迎えしようとい

う趣旨で、「二〇〇七年ユニバ

ーサル技能五輪国際大会『おも

てなし料理』レシピコンテスト」

を開催しました。コンテストは

「肉料理」「シーフード料理」「デザート」の三テーマで行

われ、私は「シーフード料理」部

門に「駿河湾産ヤリイカのロ

ールフライ箱根野菜添え」をエン

トリーしました。

この挑戦も、研究材料の一つ

である駿河湾で自ら採集したヤ

リイカを使つた作品としてコン

テストに応募しました。入賞者

のほとんどが静岡県下の有名シ

ェフである中で、受賞した作品

を含めた二十一作品を掲載した

「おもてなし料理レシピブック」

に、学生として唯一私の作品が

掲載されることになり大変嬉しかつたです。その内容はその後、

SBSテレビ「静岡発」そこから

「おもてなし料理レシピブック」や新聞等にも紹介されました。

大学生活を通じて、様々な経

験をすることができ、多くの方々

へ感謝の気持ちでいっぱいです。

本当にありがとうございました。

大学生活を通じて、様々な絏

験をすることができ、多くの方々

へ感謝の気持ちでいっぱいです。

本当にありがとうございました。

平成 19 年度 事 業 報 告

1 国際関係学部校友会会長賞授与

平成19年度日本大学国際関係学部在学生から、次の者が国際関係学部長から推薦された。

・校友会会长賞（副賞：記念品）は、国際関係学部3名に贈られ平成20年3月25日の卒業式当日、ホテルパシフィック東京において授与式が行われた。

・校友会会长賞（副賞：奨学金）は、国際関係学部4名及び短期大学部1名に贈られ平成20年4月4日開講式当日授与式が行われた。

①校友会会长賞（副賞：記念品）

黒子佳恵（国際関係学科4年） 大森未奈子（国際関係学科4年）

笠倉 謙（国際関係学科4年）

②校友会会长賞（副賞：奨学金）

関谷紀志（国際文化学科3年） 長谷川孝洋（国際ビジネス情報学科3年）

勝呂 孝（国際関係学科3年） 中島由人（国際ビジネス情報学科3年） 富井映里（専攻科食物栄養専攻1年）

1 日大スポーツ06

1,500部を平成19年4月国際関係学部・短期大学部（三島）各学科の新入生全員に対して入学祝として渡した。

1 会報発行

会報38号を平成19年9月1日付け18頁3,000部を発行した。

1 各科同窓会等補助

①桜栄会会報発行及び名簿作成に対する補助。②大学の体育会に対する補助。

③箱根駅伝応援に対する補助。

1 常任幹事会

平成19年6月16日（土）16時から、三島グランドホテルにおいて開催した。

1 幹事会

平成19年6月16日（土）17時から、三島グランドホテルにおいて開催した。

1 総会並びに懇親会

平成19年7月14日（土）16時から、三島グランドホテルにおいて開催した。

1 箱根駅伝応援

平成20年1月3日（木）復路スタート応援地点で応援した。また、平成20年1月2日（往路）3日（復路）の両日、国際関係学部体育会ダンス部・文化会吹奏楽部が箱根で応援に花を添えた。

平成 19 年度 収 支 決 算 書

（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

（単位：円）

支 出 の 部				取 入 の 部			
項 目	予 算 額	決 算 額	差 額	項 目	予 算 額	決 算 額	差 額
獎 学 費	620,000	610,275	9,725	会 費 収 入	14,900,000	14,833,600	66,400
日大スポーツ購入費	450,000	450,000	0	雜 収 入	330,992	370,028	△ 39,036
校 友 会 報 発 行 費	230,000	234,100	△ 4,100	前 受 金 収 入	0	0	0
各 科 同 窓 会 等 補 助	1,760,000	900,000	860,000				
學 生 团 体 補 助	1,200,000	600,000	600,000				
總 會 並 び に 懇 親 会 費	900,000	720,945	179,055				
箱 根 駅 伝 応 援 補 助	600,000	374,225	225,775				
本 部 校 友 会 会 費	470,000	470,000	0				
卒 業 記 念 品 費	4,040,000	3,717,000	323,000				
議 会 合 費	620,000	572,974	47,026				
通 信 運 動 費	200,000	201,620	△ 1,620				
事 務 費	420,000	645,562	△ 225,562				
雜 費	600,000	772,773	△ 172,773				
予 備 費	100,000	0	100,000				
計	12,210,000	10,269,474	1,940,526	計	15,230,992	15,203,628	27,364
基 金 繼 入 額	0	0	0	基 金 繼 出 額	0	0	0
次 年 度 繼 越 金 (前 受 金)	11,140,000 (0)	13,053,162 (0)	△ 1,913,162 (△ 1,913,162)	前 年 度 繼 越 金	8,119,008	8,119,008	0
支 出 の 部 合 計	23,350,000	23,322,636	27,364	取 入 の 部 合 計	23,350,000	23,322,636	27,364

貸 借 対 照 表

（平成 20 年 3 月 31 日現在）

（単位：円）

借 方		貸 方	
項 目	金 額	項 目	金 額
普 通 預 金	38,053,162	基 金	25,000,000
定 期 預 金	0	前 年 度 繼 越 額	(25,000,000)
		次 年 度 繼 越 額	(13,053,162)
合 計	38,053,162	繰 越 金	(13,053,162)
		合 計	38,053,162

基 金 の 内 訳

（単位：円）

項 目	前 年 度 繫 越 額	本 年 度 繫 入 額	合 計
行 事 等 積 立 金	25,000,000	0	25,000,000
計	25,000,000	0	25,000,000

平成 19 年度収支について、関係帳簿並びに証拠書類を精査いたしましたが、記帳その他正確であることを認めます。

平成 20 年 7 月 28 日

会計監査 染 谷 德 昭 守

平成 20 年度 事 業 計 画

- 1 国際関係学部校友会会長賞授与(副賞:記念品もしくは奨学金)
 日本大学国際関係学部及び短期大学部を平成21年3月卒業・4月進級の予定者を対象とする。
 ・校友会会长賞並びに記念品 国際関係学部 4年卒業予定者 各学科1名
 短期大学部 2年卒業予定者 各学科1名
 ・校友会会长賞並びに奨学金 国際関係学部 各学科2・3年生 各学年1名
 短期大学部 各学科1年生 各1名
- 1 日大スポーツ07
 1,500部を平成20年4月国際関係学部・短期大学部(三島)各学科の新入生全員に対して入学祝として渡す。
- 1 会報発行
 会報39号(平成20年9月1日付)20頁3,200部。
- 1 各科同窓会等補助
 ①各科名簿編集の推進及び各科同窓会行事に対する補助。
 ②大学体育会・文化会に対する補助。
 ③箱根駅伝応援に対する補助。
- 1 常任幹事会
 平成20年6月14日(土)17時30分から、日本大学国際関係学部校舎15号館5階において開催する。
- 1 幹事会
 平成20年6月14日(土)17時30分から、日本大学国際関係学部校舎15号館5階において開催する。
- 1 総会並びに懇親会
 平成20年7月28日(日)15時から、日本大学国際関係学部校舎15号館2階において開催する。
- 1 箱根駅伝応援
 平成21年1月3日(火)復路スタート応援地点で応援する。また、平成21年1月2日(月)往路ゴール応援地点及び平成21年1月3日(火)復路スタート応援地点で国際関係学部体育会所属(ダンス部)・文化会所属(吹奏楽部)の学生が応援に参加する。

平成 20 年度 収 支 予 算 書

(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位:円)

支 出 の 部				収 入 の 部			
項 目	本年度予算額	前年度予算額	差 額	項 目	本年度予算額	前年度予算額	差 額
奨 学 費	520,000	620,000	△ 100,000	会 費 収 入	14,560,000	14,900,000	△ 340,000
日大スポーツ購入費	450,000	450,000	0	雑 収 入	376,838	330,992	45,846
校友会報発行費	230,000	230,000	0	前 受 金 収 入	0	0	0
各科同窓会等補助	1,700,000	1,760,000	△ 60,000				
学生団体補助	4,200,000	1,200,000	3,000,000				
総会並びに懇親会費	800,000	900,000	△ 100,000				
箱根駅伝応援補助	400,000	600,000	△ 200,000				
本部校友会会費	470,000	470,000	0				
卒業記念品費	4,040,000	4,040,000	0				
会議会合費	800,000	620,000	180,000				
通信運搬費	200,000	200,000	0				
事務費	650,000	420,000	230,000				
雜費	770,000	600,000	170,000				
予備費	100,000	100,000	0				
計	(15,330,000)	(12,210,000)	(3,120,000)	計	14,936,838	15,230,992	△ 294,154
基 金 繼 入 額	0	0	0	基 金 繼 出 額	0	0	0
次 年 度 繼 越 金	12,660,000	11,140,000	1,520,000	前 年 度 繼 越 金	13,053,162	8,119,008	4,934,154
(前受金)	(0)	(0)	(0)				
(繰越金)	(12,660,000)	(11,140,000)	(1,520,000)				
支 出 の 部 合 計	27,990,000	23,350,000	4,640,000	収 入 の 部 合 計	27,990,000	23,350,000	4,640,000

平成 20 年度役員

任期 (H18.4.1 ~ H21.3.31)

役 職 氏 名 (在学年度)

常任幹事 稲葉桂子 (60・61)
 常任幹事 久保和之 (63・01)
 常任幹事 廣岡達郎 (01~04)
 常任幹事 斎藤 実 (01~04)
 常任幹事 藤澤博隆 (03・04)
 常任幹事 明石浩一 (05~09)
 常任幹事 山瀬 匠 (08・09)
 常任幹事 渡邊孝哉 (09・10)
 会計監査 染谷徳昭 (42・43)
 会計監査 宮川 守 (47・48)

教 養

幹 事 高田日出太郎 (21)
 幹 事 萩野新一郎 (21)
 幹 事 馬場康夫 (21・22)
 幹 事 清 好一 (21~23)
 幹 事 石垣義親 (21~23)
 幹 事 小野真一 (21~23)
 幹 事 澤 直和 (21~23)
 幹 事 滝川 昇 (22・23)
 幹 事 高橋文吉 (22・23)
 幹 事 堀井佳勇 (22・23)
 幹 事 勝村一男 (22・23)
 幹 事 中島知之 (22・23)
 幹 事 溝口梅男 (22・23)
 幹 事 中塙利雄 (22~24)
 幹 事 北條 晃 (22~24)
 幹 事 長田 渉 (22~24)
 幹 事 山内 茂 (22~24)
 幹 事 川口正信 (22~24)
 幹 事 小林昭雄 (22~24)
 幹 事 甲木康夫 (22~24)
 幹 事 木村幸夫 (23~25)
 幹 事 小林栄三 (23~25)
 幹 事 勝俣敞充 (23~25)
 幹 事 森下菊美 (23~25)
 幹 事 播本 弘 (23~25)
 幹 事 長谷川駿一 (23~25)
 幹 事 徳増清二 (23~25)
 幹 事 石野 進 (23~25)
 幹 事 石垣恭弘 (23~25)
 幹 事 井上忠彦 (23~25)
 幹 事 杉山吉房 (23~25)
 幹 事 服部房夫 (23~25)
 幹 事 浅海武夫 (23~25)
 幹 事 石川 進 (25・26)
 幹 事 矢澤知秋 (25・26)

役 職 氏 名 (在学年度)

会 長 相田信次 (44・45)
 副 会 長 宮下公雄 (54~57)
 副 会 長 高田菊平 (36)
 副 会 長 山田浩子 (41・42)
 副 会 長 小早川隆義 (42・43)
 副 会 長 山崎光義 (44・45)
 副 会 長 佐野茂子 (37・38)
 副 会 長 弓場重明 (44・45)
 幹 事 長 田中由雄 (42・43)
 常任幹事 関野幹雄 (48・49)
 常任幹事 関野浩二 (57~60)
 常任幹事 野田正人 (62・63)
 常任幹事 金田 豊 (23~25)
 常任幹事 白鳥義仁 (25・26)
 常任幹事 田村 実 (26・27)
 常任幹事 鈴木義樹 (28・29)
 常任幹事 市川紀子 (35・36)
 常任幹事 久保田 勝 (38・39)
 常任幹事 佐野勝己 (39・40)
 常任幹事 土屋忠得 (40・41)
 常任幹事 土屋貞明 (42・43)
 常任幹事 渡辺忠昭 (42・43)
 常任幹事 林田孝二 (43)
 常任幹事 山口良児 (43・44)
 常任幹事 平岩美知子 (44・45)
 常任幹事 鈴木正八 (44・45)
 常任幹事 濱田義之 (45)
 常任幹事 久保田博明 (45・46)
 常任幹事 遠藤晶子 (45・46)
 常任幹事 榎本睦美 (45・46)
 常任幹事 西野和衛 (46・47)
 常任幹事 江本博勝 (46・47)
 常任幹事 神戸絹代 (47・48)
 常任幹事 瀬川 宏 (47・48)
 常任幹事 大島裕二 (52・53)
 常任幹事 露木ひろみ (53・54)
 常任幹事 斎藤 聰 (54~57)
 常任幹事 柳川浩昭 (54~57)
 常任幹事 高野真一 (54~57)
 常任幹事 守野敏也 (55・56)
 常任幹事 木村貴美和 (55~58)
 常任幹事 横山雅人 (56~59)
 常任幹事 小松徳弘 (56~59)
 常任幹事 高野 誠 (57~60)
 常任幹事 山本宏治 (57~60)
 常任幹事 勝又義博 (57~60)

役 職 氏 名 (在学年度)

顧 問 西村美枝子 (22~24)
 顧 問 中嶋信行 (23~25)
 顧 問 奥田吉郎 (23~25)
 顧 問 瀬川一男 (23~25)
 顧 問 石川貞夫 (28・29)
 顧 問 小椋貞夫 (28・29)
 顧 問 角田義廣 (30・31)
 顧 問 平井千枝 (34・35)
 顧 問 柴田 正 (41・42)

 参 与 渡辺洋子 (35・36)
 参 与 岩崎一雄 (43・44)
 参 与 板垣和代 (36・37)

役	職 氏 名 (在学年度)	役	職 氏 名 (在学年度)	役	職 氏 名 (在学年度)
幹	事 秋山稔明 (46・47)	幹	事 小川武司 (37)	幹	事 長倉祐作 (25・26)
幹	事 前田正丈 (47・48)	幹	事 多田清太郎 (37)	幹	事 宮崎茂樹 (25・26)
幹	事 野田 栄 (47・48)	幹	事 坂口正剛 (37)	幹	事 光信 儒 (26・27)
幹	事 多田清吾 (47・48)	幹	事 小石川宣照 (37)	幹	事 浅原好胤 (26・27)
幹	事 辻本真由美 (51・52)	幹	事 勝亦 誠 (38)	幹	事 高橋英明 (26・27)
幹	事 濱田順二 (53・54)	幹	事 栗山康雄 (39)	幹	事 荒川通 (26・27)
幹	事 吉川浩司 (54・55)	幹	事 杉田朋昭 (39)	幹	事 塩田 浩 (26・27)
幹	事 後藤幸江 (58・59)	幹	事 両角 勇 (42)	幹	事 大井徹也 (26・27)
幹	事 斎藤みどり (59・60)	幹	事 鈴木 允 (48)	幹	事 稲葉 昭 (26・27)
幹	事 長澤裕子 (59・60)	幹	事 高藤省三 (49)	幹	事 熊崎文二 (26・27)
幹	事 中村由美子 (61・62)	幹	事 滝本 博 (53)	幹	事 輿水啓一 (26・27)
幹	事 南まり子 (03・04)	桜文会			
幹	事 小池恭子 (04・05)	幹	事 岩崎尚枝 (41・42)	幹	事 廣田均 (26・27)
幹	事 白川美保 (05・06)	幹	事 小永井京子 (43・44)	幹	事 栗原恒夫 (26・27)
幹	事 小柴慶子 (06・07)	幹	事 高橋真理子 (44・45)	幹	事 後藤守雄 (26・27)
幹	事 勝又美咲 (16・17)	幹	事 石井千枝子 (46・47)	幹	事 黒滝祐司 (27・28)
商経・二部		幹	事 松村啓子 (51・52)	幹	事 小林義尚 (27・28)
幹	事 村山要 (30・31)	幹	事 佐野有美 (52・53)	幹	事 田村栄一 (27・28)
幹	事 杉山敏明 (34・35)	幹	事 大塚久子 (52・53)	幹	事 関本文彦 (27・28)
幹	事 渡辺勝 (38・39)	幹	事 瀬川晶子 (52・53)	幹	事 真部喜孝 (27・28)
幹	事 勝谷哲雄 (40・41)	幹	事 武田裕美 (55・56)	幹	事 結城勇一 (27・28)
幹	事 津田正克 (50・51)	幹	事 勝亦幾代 (56・57)	幹	事 長沢龍助 (27・28)
幹	事 甲斐幸博 (51・52)	幹	事 北川早苗 (56・57)	幹	事 佐々木凱男 (27・28)
幹	事 甲斐忠則 ()	幹	事 山崎睦子 (57・58)	幹	事 川崎一成 (27・28)
幹	事 後藤善夫 (52・53)	幹	事 高野直美 (58・59)	幹	事 丸山富美男 (28)
幹	事 加藤喜章 (53・54)	幹	事 阿部昭子 (59・60)	幹	事 坂詰正衛 (28・29)
幹	事 鈴木理平 (54・55)	幹	事 神田留美子 (60・61)	幹	事 望月知林 (28・29)
幹	事 内野祥司 (55・56)	幹	事 橋本由恵 (62・63)	幹	事 安東安生 (29・30)
幹	事 山田良 (55・56)	幹	事 白石忍 (63・1)	幹	事 田嶋文義 (29・30)
幹	事 杉山勝行 (57・58)	幹	事 渡邊陽子 (01・02)	幹	事 寺崎哲郎 (29・30)
幹	事 鈴木文量 (59・60)	幹	事 高鹿真弓 (03・04)	幹	事 関哲男 (29・30)
幹	事 金城三十二 (59・60)	幹	事 片柳容子 (03・04)	幹	事 林田達郎 (29・30)
幹	事 武井直子 (60・61)	幹	事 秋山陽子 (04・05)	幹	事 森伸夫 (30・31)
幹	事 土佐谷泰子 (61・62)	幹	事 松本佳代子 (05・06)	幹	事 道見俊廣 (30・31)
幹	事 田伏正和 (01・02)	幹	事 古屋美帆 (06・07)	幹	事 小野武 (30・31)
幹	事 名雪しげみ (01・02)	幹	事 渡辺さゆり (06・07)	幹	事 馬場妙子 (30・31)
幹	事 菅江稔 (02・03)	幹	事 小林昌子 (07・08)	幹	事 屋鋪公平 (30・31)
幹	事 明石知恵美 (02・03)	幹	事 山崎幸恵 (08・09)	幹	事 堀幸男 (30・31)
幹	事 川原浩貴 (03・04)	幹	事 佐野隆子 (09・10)	幹	事 根岸元宏 (31・32)
幹	事 小野和彥 (03・04)	幹	事 成島敦子 (09・10)	幹	事 渡部浩司 (31・32)
幹	事 坂口聖剛 (03・04)	幹	事 星美保子 (10・11)	幹	事 大村日出雄 (32)
幹	事 今川高宏 (04・05)	幹	事 工藤美咲 (10・11)	幹	事 甲田知由 (33)
幹	事 町野智彦 (05・06)	商経・一部			
幹	事 池田昌史 (08・09)	幹	事 萩野谷肇 (41・42)	幹	事 吉野洋一 (35)
幹	事 成田伸行 (08・09)	幹	事 上田定義 (41・42)	幹	事 鈴木肇 (35)
桜栄会		幹	事 加藤久貴 (46・47)	幹	事 御供政紀 (35・36)
幹	事 山口玲子 (34・35)			幹	事 小澤文郎 (36)
				幹	事 大西良雄 (37)

役	職	氏名(在学年度)
幹	事	山下朋子(61・62)
幹	事	袴田則子(62・63)
幹	事	鷺尾貴子(62・63)
幹	事	田上順子(62・63)
幹	事	山口美樹(62・63)
幹	事	大須賀美穂(63・01)
幹	事	櫻田智栄美(63・1)
幹	事	三宅理砂子(63・1)
幹	事	野上香(63・1)
幹	事	日吉美由紀(63・1)
幹	事	勝俣千穂(01・02)
幹	事	高田香世子(01・02)
幹	事	田村尚子(01・02)
幹	事	杉村智恵(01・02)
幹	事	湯原里美(01・02)
幹	事	久保田裕子(01・02)
幹	事	市川智香(02・03)
幹	事	岡本ゆう子(02・03)
幹	事	大山妙子(02・03)
幹	事	羽田真理子(02・03)
幹	事	望月ゆりか(03・04)
幹	事	安田ひとみ(03・04)
幹	事	鈴木春美(03・04)
幹	事	西村直子(03・04)
幹	事	宮本久美子(03・04)
幹	事	渡邊真理子(03・04)
幹	事	小澤知子(04・05)
幹	事	海老沢幸子(04・05)
幹	事	井上雅代(04・05)
幹	事	西岡かおり(04・05)
幹	事	渡辺恵美(04・05)
幹	事	田村美保(04・05)
幹	事	原田愛(05・06)
幹	事	西山志保(05・06)
幹	事	関谷園子(05・06)
幹	事	渡邊千史(05・06)
幹	事	川口由美子(05・06)
幹	事	池谷尚美(05・06)
幹	事	中村理恵子(05・06)
幹	事	遠藤理愛(05・06)
幹	事	神尾かほり(06・07)
幹	事	遠藤里都美(06・07)
幹	事	鈴木寛子(06・07)
幹	事	山本静香(06・07)
幹	事	佐藤純子(06・07)
幹	事	三須洋美(06・07)
幹	事	白井道代(52・53)
幹	事	石橋治代(52・53)
幹	事	岩崎美浪(52・53)
幹	事	竹内厚子(52・53)
幹	事	宮澤正江(52・53)
幹	事	遠藤豊美(52・53)
幹	事	長谷川規子(52・53)
幹	事	松川順子(52・53)
幹	事	松崎光子(52・53)
幹	事	中澤小雪(53・54)
幹	事	齋藤裕子(53・54)
幹	事	長田智子(53・54)
幹	事	押見恵美子(53・54)
幹	事	船石圭子(53・54)
幹	事	四條里美(53・54)
幹	事	鷺巣かほる(53・54)
幹	事	藤原和美(54・55)
幹	事	原田純子(54・55)
幹	事	池谷美津子(54・55)
幹	事	中澤由利子(54・55)
幹	事	佐伯絵里子(54・55)
幹	事	伊藤若菜(54・55)
幹	事	吉田麻理子(55・56)
幹	事	野中美香(55・56)
幹	事	藤田建江(56・57)
幹	事	小澤里佳子(56・57)
幹	事	深津久美子(56・57)
幹	事	石谷美智子(57・58)
幹	事	田中恵子(57・58)
幹	事	嶋由樹子(57・58)
幹	事	鈴木江利子(57・58)
幹	事	西田昭子(58・59)
幹	事	鈴木敦子(58・59)
幹	事	武藤さゆり(58・59)
幹	事	荻沢洋子(58・59)
幹	事	平澤佳代子(58・59)
幹	事	山田明子(58・59)
幹	事	谷井かほる(58・59)
幹	事	鈴木佳乃(59・60)
幹	事	塩崎朝子(59・60)
幹	事	加藤容子(59・60)
幹	事	藤波佳乃(59・60)
幹	事	藤井由紀子(60・61)
幹	事	穂谷野弥生(60・61)
幹	事	小島みちよ(61・62)
幹	事	久保玲華(61・62)
幹	事	阿部麻子(35・36)
幹	事	木崎有里子(35・36)
幹	事	渡辺かよ子(35・36)
幹	事	小泉陽子(36・37)
幹	事	中村満里子(37・38)
幹	事	川口裕子(37・38)
幹	事	米山日出子(37・38)
幹	事	小坂照子(38・39)
幹	事	塙谷まさよ(38・39)
幹	事	井原康恵(38・39)
幹	事	金井美智子(38・39)
幹	事	望月千登世(38・39)
幹	事	秋山幸子(39・40)
幹	事	関口瑞(39・40)
幹	事	福尾つや子(39・40)
幹	事	浅田義志子(39・40)
幹	事	神部文子(39・40)
幹	事	高橋美鶴(40・41)
幹	事	伊達伸子(40・41)
幹	事	石黒栄美子(41・42)
幹	事	鳥羽山資子(41・42)
幹	事	秋山悦子(41・42)
幹	事	渡辺あき子(41・42)
幹	事	嶋美也子(41・42)
幹	事	伊藝睦(41・42)
幹	事	駿藤春代(42・43)
幹	事	石原泰代(42・43)
幹	事	篠田光代(42・43)
幹	事	影山貴美枝(43・44)
幹	事	土屋時子(43・44)
幹	事	柴田敬子(44・45)
幹	事	川村千代子(45・46)
幹	事	辻緑(45・46)
幹	事	小林秀実(45・46)
幹	事	鈴木清美(46・47)
幹	事	佐藤奈津美(47・48)
幹	事	鈴木佳津江(47・48)
幹	事	神田みつ子(47・48)
幹	事	勝又昌代(48・49)
幹	事	原康子(48・49)
幹	事	碓井久美子(49・50)
幹	事	岩田智加子(50・51)
幹	事	大沼めぐみ(50・51)
幹	事	峰田富美子(51・52)
幹	事	山口智佳子(51・52)
幹	事	堤令子(52・53)

役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)
幹	事	早川清文(45・46)	幹	事	平澤怜子(15・16)	幹	事	齊藤真由美(07・08)
幹	事	三枝和彦(46・47)	幹	事	榎原友希(15・16)	幹	事	和泉久美(07・08)
幹	事	勝間田太住(47・48)	幹	事	田村美沙子(15・16)	幹	事	小野澤美和(07・08)
幹	事	天野寿一(48・49)	幹	事	植松明菜(15・16)	幹	事	小林世以子(07・08)
幹	事	上原豊和(52・53)	幹	事	荻島宏予(15・16)	幹	事	中林香子(07・08)
幹	事	西家勝彦(52・53)	幹	事	渡邊裕未(15・16)	幹	事	水谷鯉恵(07・08)
幹	事	藤本文彦(52・53)	幹	事	山田沙織(15・16)	幹	事	横田忍(07・08)
幹	事	埜村光伸(53・54)	幹	事	宇野浩吏(16・17)	幹	事	中橋智子(08・09)
幹	事	勝呂千明(53・54)	幹	事	星野成幸(16・17)	幹	事	神戸アリ沙(08・09)
幹	事	鈴木啓太郎(54・55)	幹	事	渡邊尚(16・17)	幹	事	兼房華(08・09)
学部			幹	事	木下友理(16・17)	幹	事	長倉智恵子(08・09)
幹	事	遠藤日出夫(37・)	幹	事	鈴木佳奈子(16・17)	幹	事	大塚由香(08・09)
幹	事	渡辺博夫(37・)	幹	事	中西麻純(16・17)	幹	事	佐藤美幸(09・10)
幹	事	江川洋(42・)	幹	事	増島清美(16・17)	幹	事	青木由佳(09・10)
幹	事	藤幡俊量(46・)	幹	事	萩原美香(16・17)	幹	事	田村理絵(09・10)
国際			幹	事	平川綾乃(16・17)	幹	事	内田恵(09・10)
幹	事	松原裕二(54~57)	幹	事	綾部久美子(16・17)	幹	事	渡邊明子(09・10)
幹	事	川口智彦(54~57)	幹	事	松永理沙(16・17)	幹	事	植野敦子(09・10)
幹	事	諏訪部健(55~58)	幹	事	隅田優美(17・18)	幹	事	佐野文美(10・11)
幹	事	平野雅之(56~59)	幹	事	飯田泰恵(17・18)	幹	事	秋山左知子(11・12)
幹	事	福田勝弘(56~59)	幹	事	石川裕里佳(17・18)	幹	事	鞍本鮎美(11・12)
幹	事	宇田隆康(56~59)	幹	事	田顔朋美(17・18)	幹	事	尾間裕仁(11・12)
幹	事	齋藤史男(56~59)	幹	事	田中沙季(17・18)	幹	事	笠原奈津子(11・12)
幹	事	三浦仁(57~60)	幹	事	堀田裕貴(17・18)	幹	事	宮田朋子(11・12)
幹	事	横田正(57~60)	幹	事	吉田ルミ(17・18)	幹	事	田角典子(12・13)
幹	事	森田克彦(58~61)	幹	事	井形歩(17・18)	幹	事	小林由佳(12・13)
幹	事	佐上菊二(58~61)	幹	事	瀧智草(17・18)	幹	事	赤川智海(12・13)
幹	事	小塚敏久(58~61)	幹	事	隅田優美(17・18)	幹	事	小出祐子(12・13)
幹	事	横溝泰蔵(59~62)	幹	事	岩代美貴(18・19)	幹	事	峯松園美(13・14)
幹	事	池尻敏広(59~62)	幹	事	加藤未奈(18・19)	幹	事	山田美穂(13・14)
幹	事	山田竜作(60~63)	幹	事	深谷友香里(18・19)	幹	事	遠藤友海(13・14)
幹	事	土田洋二(60~63)	幹	事	豊田彩香(18・19)	幹	事	清水磨希子(13・14)
幹	事	桑原健治(60~63)	幹	事	野口明日香(18・19)	幹	事	高橋由実(13・14)
幹	事	渡辺武一郎(60~63)	幹	事	藤井里奈(18・19)	幹	事	米永寿子(13・14)
幹	事	木俣かおり(61~01)	幹	事	松井志保美(18・19)	幹	事	渡邊晃子(13・14)
幹	事	増原伸一(61~01)	幹	事	萬両美幸(18・19)	幹	事	岩田直子(14・15)
幹	事	犬塚重暁(63~03)	幹	事	福島健嗣(18・19)	幹	事	大沼秋桜子(14・15)
幹	事	野口厚(63~03)	幹	事	村松海(18・19)	幹	事	高橋美絵子(14・15)
幹	事	藤田隆(63~03)	工科			幹	事	石渡麻史(14・15)
幹	事	佐藤淳悦(01~04)	幹	事	宮下正俊(39・40)	幹	事	服部直美(14・15)
幹	事	高橋博樹(01~04)	幹	事	菅沼弘(39・40)	幹	事	秋山絵操(14・15)
幹	事	長谷川哲夫(01~04)	幹	事	中山義昭(41・42)	幹	事	山田真理子(15・16)
幹	事	村上東洋男(01~04)	幹	事	渡辺清(42・43)	幹	事	田中順子(15・16)
幹	事	鈴木芳典(01~04)	幹	事	赤地哲也(42・43)	幹	事	栗田裕子(15・16)
幹	事	須田啓一郎(01~04)	幹	事	吉田力(44・45)	幹	事	小林久美(15・16)
幹	事	原田恭平(01~04)	幹	事	長倉良幸(44・45)	幹	事	河原崎朱里(15・16)

役職	氏名(在学年度)	役職	氏名(在学年度)	役職	氏名(在学年度)
幹事	山川利雄(13~16)	幹事	成田哲浩(09~12)	幹事	椿 昌宏(01~04)
幹事	浅野雄介(13~16)	幹事	八木美由紀(09~12)	幹事	南 敦子(02~05)
幹事	筒井友恵(13~16)	幹事	川合貴子(09~12)	幹事	門脇正明(02~05)
幹事	本多加奈(13~16)	幹事	井上明子(09~12)	幹事	藤原誠吾(02~05)
幹事	山本彩子(13~16)	幹事	徳田瑞希(09~12)	幹事	前田智也(02~05)
幹事	小栗美緒(13~16)	幹事	斎藤真規(10~13)	幹事	坂井利彰(02~05)
幹事	勅使河原武史(13~16)	幹事	長岡福也(10~13)	幹事	小田純子(02~05)
幹事	相見大輔(13~16)	幹事	上西智史(10~13)	幹事	田辺裕司(02~05)
幹事	板橋紗綾香(13~16)	幹事	筒井靖子(10~13)	幹事	田松正樹(02~05)
幹事	武田泰弘(13~16)	幹事	杉山祥啓(10~13)	幹事	西岡昌仁(02~05)
幹事	浅石友里子(13~16)	幹事	渡辺 梓(10~13)	幹事	鎌田文一(02~05)
幹事	渡邊頌子(13~16)	幹事	大津留真紀(10~13)	幹事	沼尻正則(03~06)
幹事	岩崎康全(13~16)	幹事	大友仁美(10~13)	幹事	若松はるか(03~06)
幹事	綱島昇(14~17)	幹事	佐野京子(12~13)	幹事	三宅大介(03~06)
幹事	塙田泰章(14~17)	幹事	鈴木亜希子(12~13)	幹事	清水建(03~06)
幹事	杉町カウエ(14~17)	幹事	園部真子(12~13)	幹事	小塙達郎(03~06)
幹事	小川淳(14~17)	幹事	長谷川郁子(11~14)	幹事	金枝あや(03~06)
幹事	内村彩(14~17)	幹事	松下夏葉(11~14)	幹事	紅林美智子(03~07)
幹事	渡邊賢治(14~17)	幹事	竹腰真裕子(11~14)	幹事	佐藤治夫(04~07)
幹事	藁谷和正(17~18)	幹事	後藤暢宏(11~14)	幹事	千野琢磨(04~07)
幹事	井所博志(15~18)	幹事	竹村直(11~14)	幹事	日宇功太(04~07)
幹事	金田亞由美(15~18)	幹事	木下真由美(11~14)	幹事	渡辺将之(04~07)
幹事	橋本流音(15~18)	幹事	小森美雪(11~14)	幹事	杉山文予(05~08)
幹事	小倉宏紀(15~18)	幹事	若月朋子(11~14)	幹事	江島照美(05~08)
幹事	宮腰治憲(15~18)	幹事	杉野美紀(11~14)	幹事	室伏寛美(05~08)
		幹事	齋藤久美絵(11~14)	幹事	田尻美三(05~08)
幹事	田野口皓太(15~18)	幹事	川村友江(11~14)	幹事	青木徹(05~08)
幹事	室伏弘己(15~18)	幹事	猪狩博織(11~14)	幹事	大嶽龍一(05~08)
幹事	菅家奈都美(15~18)	幹事	山下政幸(11~14)	幹事	沖倉保宏(06~09)
幹事	宮本卓技(15~18)	幹事	小林久美(11~14)	幹事	今川慶(06~09)
幹事	岩井小百合(16~19)	幹事	堀本晴子(11~14)	幹事	田中智康(06~09)
幹事	鈴木弘明(16~19)	幹事	鈴木さや夏(13~14)	幹事	久芳仁(06~09)
幹事	竹川光一朗(16~19)	幹事	村山景子(13~14)	幹事	植松信二(06~09)
幹事	長谷川翼(16~19)	幹事	川下知恵(12~15)	幹事	小林寿成(07~10)
幹事	黒子佳恵(16~19)	幹事	鹿内隼人(12~15)	幹事	望月雅子(07~10)
幹事	大森未奈子(16~19)	幹事	齋藤慎亮(12~15)	幹事	斎藤美根子(07~10)
幹事	笠倉諒(16~19)	幹事	山本克幸(12~15)	幹事	纁纁健太郎(07~10)
		幹事	川居多希子(12~15)	幹事	佐竹篤(07~10)
		幹事	拓植由美子(12~15)	幹事	小泉梨恵(07~10)
		幹事	豊永有美子(12~15)	幹事	高島寛幸(08~11)
		幹事	原順子(12~15)	幹事	正木創一(08~11)
		幹事	平野文星(14~15)	幹事	関根大助(08~11)
		幹事	小澤有礼(12~15)	幹事	井上善史(08~11)
		幹事	大野達男(12~15)	幹事	登ヶ谷祐人(08~11)
		幹事	太田孝一(13~16)	幹事	金子浩二(08~11)
		幹事	高巣幸喜(13~16)	幹事	内田修(08~11)

校友会だより(十九年度)

国際関係学部校友会



国際関係学部校友会

一 役員に関する件

一 平成十九年度事業計画(案)

一 平十九年度予算(案)

一 総会(懇親会)会費について

一 各科活動報告

一 その他

田中由雄幹事長から、平成十八年度事業報告がなされ、統いて平成十八年度決算報告が野田正人常任幹事(会計担当)から報告。本日二名の会計監査が欠席のため田中由雄幹事長から監査報告があり、それぞれ承認された。

平成十九年度新幹事として、国際関係学部十一名、食物栄養学科三十名を事務局から推薦したい旨の提案があり承認された。

統いて平成十九年度事業計画(案)及び平成十九年度予算(案)について審議され、承認された。(二案について案の削除とした。

懇親会会費については田中由雄幹事長から本部校友会会議で総会での懇親会会費収入がないとの意見があり次年度から徴収したい旨提案があり審議の結果了承された。各科活動報告については、佐野茂子新副会長から第四十七回桜栄会総会について報告があつた。

その他として相田信次新会長から、横山雅人常任幹事の司会で開会が伝えられ進行され、相田信次会長挨拶、佐藤三武朗国際関係学部長の来賓挨拶の後、議長団・書記が選出された。

議長には濱田義之常任幹事、副議長には瀬川宏常任幹事、書記には渡邊孝哉常任幹事が選出され、次の議事が審議された。

一 平成十八年度事業報告

一 平成十八年度決算報告

一 監査報告

され、相田信次会長挨拶の後、来賓挨拶として高田邦道副理事長の祝辞があつた。来賓紹介に引き続き石澤恒願問に対し感謝状が授与された。

綱持宣弘国際関係学部事務局長による乾杯のご発声で懇談に移った。鈴木允幹事の指揮のもと応援歌、校歌斉唱となり、山崎光義副会長により万歳三唱司会の閉会が伝えられ散会となつた。

から国際関係学部校舎十五号館一五五教室において総会が開催された。

染谷徳昭副会長の司会で開会し、成二十年度事業計画では、五月又は六月に総会開催。役員改選では、次年度幹事会で新役員を信義。会費徴収では会場を六階のパノラマラウンジに移し懇親会となつた。

中茎幸治相談役による乾杯の発声で懇談に移った。司会の染谷徳昭副会長の閉会が伝えられ散会となつた。

国際関係学部同窓会

平成十九年十一月十七日、第二十四回国際関係学部同窓会総会・懇親会がアルカディア市ヶ谷にて開催されました。今年度の同窓会総会・懇親会には約八十五名の卒業生、来賓の先生方が集いました。

総会の会長挨拶では横山同窓会副会長より駅伝部の活躍が紹介されました。その後、事業報告会計報告と統合して、特色ある会報をお届けできたこ

とと存ります。

平成十九年六月十日(日)には、第

四十七回総会・懇親会が日本大学国際関係学部十五号館六階パノラマウングで行われ、総会で年間行事報告、会計報告などを行いました。また、日本大学短期大学部食物栄養学科長の中島久男先生をお迎えし、講演会が催されました。引き続き行われた

懇親会は、七期・八期・十七期・十八期、二十七期・二十八期・三十七期・三十八期の当番期を含む約六十名の会員、佐藤三武朗国際関係学部長をはじめ恩師の先生方や、国際関係学部校友会からの来賓をお迎えして、和やかな会となりました。

商経科(二部)同窓会

平成十九年九月十五日(土)十七時

(文責 渡邊)



桜栄会



国際関係学部同窓会

校友会だより(一十年度)

国際関係学部校友会

平成二十年七月二十七日(土)十五時から国際関係学部校舎十五号館二階において総会が開催された。

横山雅人常任幹事の司会で開会が
伝えられ進行され、相田信次会長挨拶、
佐藤三武郎国際関係学部長の來賓挨拶の後、議長団・書記が選出さ
れた。

議長には濱田義之常任幹事、副議長には野誠常任幹事、書記には瀬川宏常任幹事が選出され、次の議事が審議された。

出席者より意見要望等の発言されたが結論には達しなかつた長の提案により継続審議とし旨の説明があり了承された。各科活動報告については、子副会長から第四十八回桜学が開催され次期会長に金井善が選出された旨報告がなさ
れた。

各科活動報告については、佐野千鶴子副会長から第四十八回桜栄会総会が開催され次期会長に金井美智子氏が選出された旨報告がなさ
して。

一、平成十九年度事業報告
一、平成十九年度決算報告
一、監査報告
一、平成二十年度事業計画
一、平成二十年度予算（案）
一、役員改選に関する件
一、各科活動報告

田中由雄幹事長から、平成十九年度事業報告がなされ、続いて平成十九年度決算報告が野田正人常任幹事（会計担当）から報告、二名の会計監査が欠席のため田中由雄幹事長から監査報告があり、それぞれ承認された。

統いて平成二十年度事業計画（案）及び平成二十年度予算（案）について審議され、承認された。二案について案の削除となつた。

平成二十年度新幹事とし国際関係
学部七名、商経学科九名、食物栄養
学科十名を事務局推薦したい旨の提

案があり承認された

次に田中由雄幹事長から平成二十

唱に始まり相田信次会長挨拶の後、
来賓挨拶として片山容一副総長・田

桜栄会



國際關係學部校友會



桜栄会

況報告や大学からのご案内を掲載しました。九千六百余名の会員の皆様に郵送いたしましたところ、お世話になつた先生方の近況に触れられ、昔のことを思い出しましたとのご報告をいただきました。

(文責 渡邊

国際関係学部校友会から
の来賓が出席されました。
久しぶりにお会いした生
生方と卒業生は、目の前
に広がる富士山の絶景をか
いご様子で和やかな会合と
なりました。

「莊船越」女将の平野洋子氏をお迎えし、これまで苦労されてきたお仕事などの興味深いお話をされました。その後行われた懇親会では、当番期を含む約八十名の会員・生徒三武郎国際関係学部長をはじめ恩師の先生方や、国際関係学部校友会からお来賓が出席されました。

「荘船越」女将の平野洋子 氏をお迎えし、これまでご苦労されてきたお仕事

1

日本大学国際関係学部校友会会則

第一章 総 則

(名 称)

第1条 本会は日本大学国際関係学部校友会と称する。

(事務局)

第2条 本会は事務局を静岡県三島市文教町2丁目31番145号に置く。

第二章 目的及び事業

(目 的)

第3条 本会は会員相互の親睦と融和をはかり母校の発展に寄与すると共に母校建学の理念を社会に拡充することを目的とする。

(事 業)

第4条 本会は前条目的達成のために次の事業を行う。

- 1 会報発行・会員名簿の作成
- 2 会員相互の親睦と融和をはかるための諸事業
- 3 母校の発展興隆に関する諸事業への協力参加
- 4 その他目的達成のために必要な諸事業

第三章 会 員

(会員構成)

第5条 本会は日本大学三島予科・三島教養部・文理学部三島・短期大学部三島・国際関係学部・大学院国際関係研究科の出身者および在籍した者による正会員と幹事会において本会に關係が深く功勞があると認められた特別会員・名誉会員並びに準会員である国際関係学部(大学院含む)・短期大学部三島の在学生。但し議決権は有しない準会員により構成する。

(会 費)

第6条 会員は規程の定めるところにより、会費を納入しなければならない。

- 2 会費及び徴収方法は別に定める。
- 3 特別会員・名誉会員は会費を徴収しないものとする。

第四章 役 員

(役員構成)

第7条 本会に次の役員を置く。

- 会長 1名
副会長 若干名
幹事長 1名
常任幹事 若干名
幹事 若干名
会計監査 2名

(顧問・参与)

第8条 本会は顧問・参与を置くことができる。

- 2 顧問・参与は幹事会の議を経て会長が委嘱する。

(役員の選出)

第9条 会長は会長・副会長会議で推薦され、総会にて承認を得るものとする。

- 2 副会長は国際関係学部校友会を構成する各同窓会会长或は在学した者の代表者とし会長が推薦し、常任幹事会に報告するものとする。
- 3 幹事長は常任幹事から会長が推薦し、常任幹事会に報告するものとする。
- 4 常任幹事から庶務担当・会計担当を幹事長が指名し、会長・副会長会議に報告するものとする。

(任 期)

第10条 各役員の任期は3年とする。但し再任は妨げない。

- 2 欠員が生じたときは、必要に応じて補選し、その任期は前任者の残存期間とする。
- 3 任期満了した場合においても、後任者が就任するまでの間その職務を行う。

(役員の職務)

第11条 会長は本会を代表し会務を総括する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。
- 3 幹事長は事務を統括し、本会運営に必要な一切の事務事項を遂行する。
- 4 常任幹事は幹事の互選により選出し、常任幹事会を構成、本会業務の遂行にあたる。
- 5 幹事は幹事会を構成し、本会運営の諸事項の議決にあたる。
- 6 顧問・参与は本会の重要事項につき、会長の諮問に応ずるものとする。

第五章 会 議

(会議及び議決方法)

第12条 本会の会議は、総会・会長、副会長会議・常任幹事会・幹事会の4種とする。

2 会議は会長が招集し、議長団はその都度選出する。

3 やむを得ない場合は、常任幹事会及び幹事会をもって総会に代ることができる。

(会議の構成及び開催)

第13条 本会は目的達成のため下記の機関を置く。

2 総会は本会運営上の諸事項についての報告を受けこれを承認する。

総会は年1回開催するものとし会長がこれを招集する。

3 常任幹事会は常任幹事以上の役員を以て構成し本会の執行機関として本会の実質的運営にあたる。常任幹事会は必要に応じて隨時会長がこれを招集する。常任幹事3分の1以上の要求があった場合はこれを招集しなければならない。

4 幹事会は総会の代行機関として第14条の事項を付議し、これを議決する。

幹事会は年1回以上開催するものとし会長がこれを招集する。幹事3分の1以上の要求があった場合は臨時に招集しなければならない。

5 事務局は幹事長指示のもと会員相互の連絡及び各会議の議事の収録並びに運営に必要な一切の事務を行う。

(総会の審議)

第14条 総会は次の事項を審議し議決する。

1 会則及び重要規定の制定、改廃に関する事項。

2 事業計画に関する事項。

3 予算・決算に関する事項。

4 会長の選任に関する事項。

5 その他第4条に基づいて必要と認められた事項。

第六章 支 部

(支部の設置)

第15条 本会は円滑な発展と交流の促進のために支部を設けることができる。

2 支部の設置条件及び方法は別に定める。

第七章 会 計

(会計年度)

第16条 本会の会計年度は4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(経費)

第17条 本会の経費は、会費並びに寄付金その他の収入を以てこれを充てる。

(会計監査)

第18条 会計監査は本会会計及び財務について監査し、その結果を総会にて報告する。

第八章 会 則

(会則変更)

第19条 本会の会則の変更は総会の議を経てこれを決する。

(会則の遵守)

第20条 国際関係学部校友会は日本大学校友会会則及び支部規程を遵守しなければならない。

(施行細則)

第21条 この会則に必要な細則は会長・副会長会議及び常任幹事会の議決を経て会長がこれを施行する。

第九条 表 彰

(表彰)

第22条 本会の目的及び事業に貢献した者は幹事会の議を経て、これを賞することができる。

第十章 除 名

(会員除名)

第23条 会員が次の事項に該当した行為があったときは幹事会の議を経て除名することができる。

1 国際関係学部の名誉を傷つけ、また校友としての品位を害する言動があったとき。

2 校友会の秩序を乱したとき。

3 故意または重大な過失により校友会に損害を与えたとき。

付 則 本会則は平成18年4月1日より施行する。

日本大学校友会組織図

日本大学校友会(校友会本部事務局)

都道府県支部(65 支部)

北海道ブロック(札幌・旭川・稚内・小樽・帯広・留萌・苫小牧・網走・釧路)
東北ブロック(青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島)
関東ブロック(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・川崎・山梨)
東京ブロック(東京都第一・東京都第二・東京都第三・東京都第四・東京都第五・
東京都第六・東京都第七)
東海ブロック(岐阜・静岡・愛知・三重)
北信越ブロック(新潟・富山・石川・福井・長野・長野北信)
近畿ブロック(滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山)
中国ブロック(鳥取・島根・岡山・広島・山口)
四国ブロック(徳島・香川・愛媛・高知)
九州ブロック(福岡・北九州・佐賀・長崎・佐世保・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄)

学部別部会(16 部会)

本部大学院・法・文理・経済・商・芸術・国際・理工・生産工・工・医・歯・松戸歯・生物資源科・薬・通信

職域別部会(4 部会)

全国桜師会・桜門会計人会・日本大学法曹会・全国桜門スポーツ部会

桜門会

海外特別支部(7 支部)

韓国・ブラジル・ロサンゼルス・台湾・サンフランシスコ・スペイン・ニューヨーク

日本大学国際関係学部校友会組織図

国際関係学部校友会
(旧三島同窓会)

三島予科
三島教養部
文理学部(三島)

短期大学部
桜文会(国文・英文)
商科同窓会(1・2部)
桜栄会(家政・食栄・生活)
工科同窓会(建築・機械)

国際関係学部同窓会